



2021.9.22 瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 待ってた待ってた運動会

20日の運動会にはお出かけくださいましてありがとうございました。朝方は曇りの天候でしたが、次第に晴れてきて運動会日和となり、無事に終わることが出来ました。昨年に続き、各学年で行いましたが、保護者様のご協力により予定通り進行出来ましたことに心より感謝申し上げます。

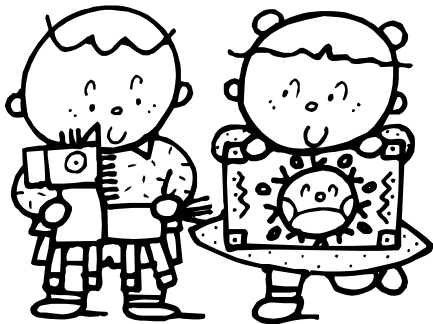
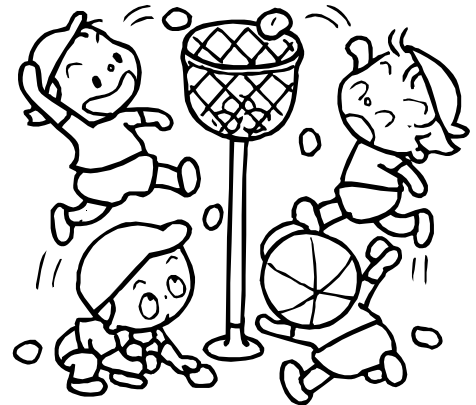
緊急事態宣言の中、一番悩んだのは観客席と観客数でした。昨年もコロナ禍で教育現場は混乱しており、夏休みの始まりも終わりも変則的で、2学期の始業式が自治体で異なっていました。来年こそは普通通り開催出来ると思っていましたが、昨年と同様に混乱は続いていました。ただ感染予防対策をしっかり行って開催すれば恐れることはない、と冷静に職員全員で相談し、運動会開催を決定しました。

年中組からスタートした当日。8時30分という早い時間にもかかわらず皆様が時間通りに集まってくださり、順調に始まりました。かけっこは盛り上がりますね。大きな声援の中、元気に走り抜けていきました。2・3歳児クラスは少し様子が違いました。やはりお父さんやお母さんがみえると甘えてしまって、なかなか離れないお子さんがあちこちで出現。でも頑張っかけてっこに体操に頑張ってくれました。

年少組はかけっこも遊戯も一生懸命。応援して下さるご両親に手を振って応えていました。最後の年長組はどの演技も自信を持って取り組んでいたと思います。園長挨拶でも言いましたが、どの学年もこの短い期間でよくここまで頑張ったと、改めて子どもたちの成長に心から拍手を送りました。

駐車場の出入り、運動場での撮影席と保護者席の移動等、保護者の皆様全員がルールを守って快くご協力いただいたことに重ねてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

コロナに関しては少しずつ感染者数が減少し、ワクチン接種も進んできましたが、まだ緊張の日々が続きます。今後の行事も予防対策にしっかり取り組みながら、開催する方向で進めていくつもりですので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



### 芸術の秋

私はある児童画展の実行委員長を務めており、今年で18年目を迎えます。この児童作品展は「学習指導要領」に基づき、子どもたちが自然や環境や社会、他者との関わりを通して、興味や関心を持ったことを、感性を働かせながら絵画や書写で表現することで、情操を養い、豊かな心を育てることを目的にしています。対象は小学生で、夏休み中に作品を募集し10月に表彰式を行います。

幼い頃より『芸術に触れる、本物の作品を観て感動する』という機会を子どもたちに与えることは、情緒豊かな人間性を培うためにとっても重要なことです。お子さんの中に秘めている能力を、引っ張り出すような機会をぜひ与えてあげてほしいと思います。書であれば、まずは字を丁寧に書く。絵であれば、対象をよく観察して描き、色を塗る。途中で投げ出さずに、画面にのびのびと描くことが大切。飽きたら終わりではなく「もう少し、ここも塗ってみようか」などと、根気よく声をかけることを繰り返していくと、素晴らしい作品に仕上がっていくことでしょう。

私自身は小学生の頃から漫画にはまって、漫画雑誌のようにノートを仕切って、夢見る少女の恋物語を描いていました。将来の夢は漫画家。ところが父の言葉であっけなく終わります。「漫画家は食ってけんから駄目だ！漫画なんか描いとらんで勉強しろ。」と言われ、そこで夢が終わりました。でも絵を描くことが好きで、幼稚園教諭となった今、小学生の頃に身に着けた能力を活かすことが出来ています。

次の行事は作品展。子どもたちの能力を引き出すように呼びかけていきますね。お楽しみに・・・